

香港株式市場フラッシュ

香港市場は活況～キャラクター(IP)関連の強さは日本を上回る

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

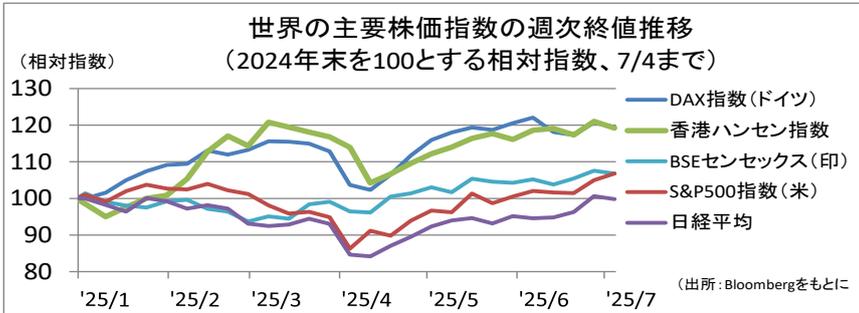
フィリップ証券株式会社

2025年7月9日号(7月9日作成)

“ハンセン指数はグローバル市場の中でもパフォーマンス上位“

香港ハンセン指数は昨年末以降、堅調に推移している。7/4までの昨年末以降の騰落率ではドイツ DAX 指数と同水準の 20% 上昇し、インド SENSEX 指数、米 S&P500 指数、日経平均株価を上回った。

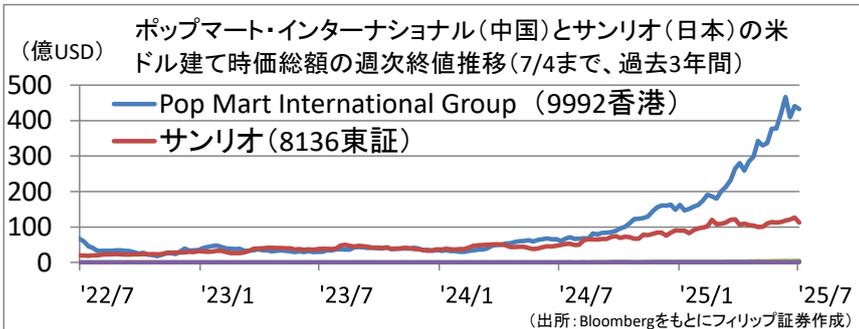
この堅調な推移の背景として、以下の点が挙げられる。①中国本土の政策支援を受けやすい A 株(中国本土株)に比べて H 株(香港上場株)の割安感の高まりから「ストック・コネクト」を通じて中国本土投資家から香港市場に半年間で過去最大規模の約 900 億ドルが流入した。中国政府が香港の金融センターとしての地位維持を戦略的に掲げたことも資金流入を後押しした。②CATL[寧徳時代新能源科技](3750 香港)、小米集団[シャオミ](1810 香港)、BYD[比亞迪](1211 香港)など中国 A 株の香港セカンダリー上場案件が人気を集め、香港市場が世界有数の IPO 市場として復活した。③米中間の関税が大幅に引き上げられるなど貿易摩擦が深刻化した中、今年 5 月に米中間の関税の一時凍結(90 日間)が実施され、中国株および香港市場に強い追い風となった。④中央銀行である中国人民銀行による金融緩和を受けて債券利回りが低下したこともあり、高配当利回りの大手国有銀行株への注目度が高まった。⑤ディープシークのような AI(人工知能)関連の新興企業や欧米大手企業にライセンスを供与するようなバイオ医薬品企業の躍進を見て、関連業界銘柄への物色意欲が高まった。



“ラブのポップマートの時価総額はサンリオの約 3.8 倍“

活況を呈する香港市場の中でも異彩を放っているのが、中国発の人気キャラクターシリーズの「LABUBU(ラブ)」他を手がける玩具メーカー「ポップマート・インターナショナル(9992 香港)」だ。同様に世界的な人気キャラクター「ハローキティ」を擁する日本のサンリオとの時価総額の比率は、2024 年 4 月に同水準だったところから今年 7/4 終値では約 3.8 倍に拡大した。

ポップマートの 2024 年 12 月通期とサンリオの 2025 年 3 月通期を米ドル換算で比較すると、ポップマートの売上高はサンリオの約 1.9 倍、営業利益は約 1.6 倍。ポップマートは、サンリオと比べると短期間で IP(知的財産)を開発し、SNS などを活用してスピーディーに拡散する点、および仲介業者を介さない D2C モデルを中心に自販機を通じた販売により中間マージンを省いた高利益率の事業モデルが強みである。一方で、サンリオのほうが、グローバルに通用する短命に終わらない長寿 IP を擁して厚みのあるブランド資産を蓄積し、キャラクターを活かして商品販売や他社へのライセンス供与、テーマパークなど多角的に活用する仕組みを確立している。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20250624 基準日: 20250708

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	周大福珠宝集团[周大福珠寶集團]	110.4	1
2	Hansoh Pharmaceutical Group Co Ltd	78.2	4
3	金蝶國際軟件集團[Kingdee Int'l Software]	74.2	2
4	小米集團[シャオミ]	70.0	6
5	中国生物製薬[シノ・バイオフーマシューティカル]	69.0	7
6	石薬集團(CPSC Pharmaceutical Group)	66.6	5
7	中国宏橋集團[ハイホン・ホンチャオ・グループ]	64.9	10
8	華虹半導體[ファホン・セミコンダクター]	64.9	9
9	Kuaishou Technology(快手)	60.2	16
10	網易[ネットイース]	55.9	11

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	East Buy Holding Ltd	-26.8	96
95	蔚来汽車[ニオ]	-23.1	91
94	ASMPT	-21.0	95
93	比亞迪電子(國際)[BYDエレクトロニック]	-20.7	92
92	Meituan(美团)	-19.4	87
91	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-11.0	90
90	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	-10.4	86
89	携程旅行網[トリップドットコムグループ]	-10.3	88
88	中升控股[チョンサン・グループ・ホールディングス]	-10.1	84
87	金沙中国[サンズ・チャイナ]	-9.9	94

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2025年7月: 中国主要経済指標】

- 6月27日(木)
 - ・1-5月工業利益<前年同月比>: 前回+1.4%、結果▲1.1%
- 6月30日(月)
 - ・6月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5、結果49.7
 - ・6月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.3、結果50.5
- 7月1日(火)
 - ・6月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回48.3、結果50.4
- 7月3日(木)
 - ・6月(財新)サービス部門PMI: 前回51.1、結果50.6
- 7月7日(月)
 - ・6月外貨準備高: 前回3.285兆USD、結果3.317兆USD
- 7月9日(水)
 - ・6月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回▲0.1%、結果+0.1%
 - ・6月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.3%、結果▲3.6%
- 7月14日(月)
 - ・6月貿易収支: 前回+1032億USD
 - ・6月輸出<前年同期比>: 前回+4.8%
 - ・6月輸入<前年同期比>: 前回▲3.4%
- 7月9日(水)-15日(火)
 - ・6月資金調達総額: 前回186.30兆元
 - ・6月新規人民元建て融資: 前回10.68兆元
 - ・6月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.9%
- 7月15日(火)
 - ・2Q(4-6月)GDP<前年同月比>: 前回+5.4%
 - ・6月小売売上高<前年同月比>: 前回+5.0%
 - ・6月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.8%
 - ・1-6月不動産投資<前年同期比>: 前回▲5.7%
 - ・1-6月固定資産投資<前年同期比>: 前回+3.7%
 - ・6月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲2.8%
 - ・6月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.22%
 - ・6月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
- 7月11日(金)-18日(金)
 - ・5月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲13.2%
- 7月21日(金)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%

出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。